

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	4年次・後期・A群
	対象学科・専攻	機械工学科
メカトロニクス I (Mechatronics I)	担当教員	渡辺 創 (Watanabe, So)
	教員室	機械工学科棟 1階 (Tel. 42-9109)
	E-Mail	swatanab@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 学修単位[講義I] / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	授業(100分) + 自学自習(80分) × 15回	
〔本科目の目標〕 機械要素と電子工学の融合を意味するメカトロニクスについて理解し、特に構成要素として必要不可欠な、モータの動作原理について理解を深めることを目的とする。		
〔本科目の位置付け〕 本講義では特にアクチュエータと電子回路を中心に講義を行うため、基本的な数学・物理の知識はもちろん、2年次および3年次に開講される電子基礎や情報処理(C言語)、電子回路I,II等の知識を前提とする。また、5年次に開講されるメカトロニクスIIの基礎となる。		
〔学習上の留意点〕 理解を深めるためのレポート課題を提示するため、それらに真摯に取り組み確実に理解を深めること。また講義の内容は必ず復習を行うこと。本講義では開講期後半でブレッドボードを利用したモータ駆動回路製作の実習を行う予定である。この実習は二人一組を原則として行うため、関連する座学知識はもちろんのこと、協調性や計画性など作業を行う上で必要な能力の向上を目指す。さらに工業英語の学習も兼ねて、専門用語を英語で書けるようにすること。なお、本講義では原則として再評価試験は行わない。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. メカトロニクスとは?	4	<ul style="list-style-type: none"> メカトロニクスの歴史と役割について理解できる。 メカトロニクス機器を構成する要素を理解し、各要素の役割を理解できる。
2. アクチュエータ	12	<ul style="list-style-type: none"> メカトロニクスにおけるアクチュエータの役割について理解できる。 電気・油圧・空気圧などの各種アクチュエータの違いについて理解できる。 DCモータの基本原理と運動方程式、モータの特徴を理解できる。 ACモータやステッピングモータの動作原理と駆動回路について理解できる。
後期中間試験	2	<ul style="list-style-type: none"> 授業項目1~2について達成度を確認する。
3. 電子回路製作の基礎	2	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な電子回路の役割を理解する。 デジタル入力の基本的な考え方を理解する。
4. 電子回路を用いたモータ駆動回路製作実習	10	<ul style="list-style-type: none"> 実習前にランダムに決められたペアで与えられた期間中、協調して作業を行うことが出来る。 ブレッドボードを利用して回路を製作できる。 半田付けによる簡単な回路製作が出来る。
後期期末試験		<ul style="list-style-type: none"> 授業項目1~4について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		<ul style="list-style-type: none"> 各試験において、間違った部分を理解できる。
〔教科書〕なし		
〔参考書・補助教材〕自作教材を適宜提供		
〔成績評価の基準〕定期試験成績(70%) + 製作実習評価(20%) + レポート(10%) 授業態度(最大20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕3-3		
〔JABEEとの関連〕(d)(2)a)		